

● **神谷樋門排水機テスト 18 日午後 13 時 30 分** 東区農家の皆さんと地域年金者組合の方々、通行人の皆さん、京都府職員、京田辺市職員の方々約 40 人近くが集合されていた。加えて国交省の職員の方々が技術研修を兼ねて、これまでにない集団となっていた。ラクタイが取材に来ていた。木津川出張所の堂下氏が排水機場の解説をされた。スピーカーがなく聞きづらかった。府営団地の郡さんなど団地の皆さんもおられた。施設の説明で終わるのでなく内排水問題など地域の地形と洪水など歴史的背景の説明が必要と思う。通り一遍の解説では面白みも興味も生まれない、視野を広く話すべきではないかと感じた。国交省のポンプは秒単位で 4 トンの排出能力で、併設されている農林省は約 2 トン弱である。近頃の降雨状況の変化では排水能力を超える場合が発生すると考えねばと思うこの頃であった。

● **竹蛇籠での生き物調査会 21 日 10 時** 蛇籠設置一帯は、雑草のすごい繁茂で簡単に近づけない状況で、4 日前の草刈りの効果が見られた。水際に刈り残しておいたところには水生生物がかなり集まっている様子だった。竹門先生からモクズカニのお話があった。大川樋門では魚道に縄が張ってあってその紐を使ってモクズカニが流れに逆らって海から川に列をなして遡上していた。そのモクズカニが木津川に到達して大きくなって捕獲されている。まさに海と川がつながっている証明で、間違いなく海産のモクズカニの捕獲はそれを証明するものである。多くの皆さんは、モクズガニは山間部の川で生まれ大きくなっているものと理解しておられるのではないのでしょうか。まさかモクズカニが川底を歩いてここまで来ているのだということに寝耳に水という驚きのお話でした。去年は 30 人の参加がありましたので、くまなく調査ができましたが、10 人という参加者でしたので、魚類の捕獲はほとんど見つけれませんでした。それでも 45 種の生き物の確認ができました。次回は 10 月 8 日に開催予定です。

● **平成 29 年度京都府地域力再生プロジェクト事業交付金申請原案できる** 29 年度の里山の会の活動実績を紹介し、木津川や山城の自然を身近に感じていただき、活動に活かして地域力再生の役立ていただくことを主目的としています。1. 水辺の子どもたちの交流会を開催すること 8 月 19 日三川合流部 2. 夜の生き物調べの実施で宿泊体験の開催 7 月 15 日里山農園教育棟 3. 竹蛇籠の設置で、大成牛の設置を木津川に作る 10 月 21・22 日木津川本川 4. 教育との充実で屋外掲示板の設置 5. 木津川は、どんな川の説明展示会の開催（山城域 7 か所）を計画しています。

● **河川協力団体の取り組みから 希少植物維持管理保全草刈り作業一覧表提出 24 日** 里山の会は 2000 年から 82 か所の希少植物の生育調査や維持管理などを行い 25 か所を重点として位置付けてきました。昨年から再調査点検の結果 21 か所に整理して、本年からさらに充実した保全活動に取り組みます。国土交通省の設定している河川協力団体として連携をさらに強め、成果を確実に記録に残せるよう充実させていくつもりです。追加資料として観察地点 82 点の再修正を進め新年度の調査を行う計画としています。この計画も提出するつもりです。

● **夏原ラグラントから現地視察の催促連絡ありました。** 里山農園周囲のナラ枯れ木の伐採で里山農園作業の安全をさらにアップするとして助成金が交付されました。その事業の進捗状況や効果などについて現地訪問されるとのことで、その日程報告が求められました。里山の会では 6 月 10 日の「里山音楽会ホタルの集い」が適当なイベントではないかと事務局会議の結論となりました。里山の会らしい楽しい取り組みですので、多くに皆さんのご参加をお待ちしています。

● **たまねぎ収穫 27 日 10 時里山農園にて 一玉 30 円で販売予定 さつまいもの植付けも予定** 2 号地のたまねぎは大村さんや森島さん、もちろん澤江さん達が丹精込めて育てていただきました。立派に収穫を持っています。しかし 3 号地のものは成長が遅く、予想していたよりも鈍い太りになっています。事務局会でその原因の検討では、追肥の不足、水分補給の不足、雑草の引き抜き手入れの不足、間隔の不足や詰まり過ぎ、深植えなどが考えられる。さらに土壌の貧栄養（土壌改良）の改善改良不足などが要因としてあげました。次年度からの改善方法が少し見つけられました。27 日の日曜日 10 時の収穫祭にお越しください、一球 30 円で、お一人 100 玉の制限で収穫して持ち帰るとしています。

● **里山農園の春の草刈り** 23日4名の参加で周囲の雑草の刈込ができて綺麗な農園に再生されました。里山農園も雑草が生い茂った畑になっています。23日皆さんが集まっていただき10時から1時30分まで草刈りや手入れに取り組みました。1号地2号地3号地の周囲の草刈り、そして9号地の広場と9号地への南道の草刈りで通路の確保が整いました。ホタルの集い(6月10日)には、さらにもう一度刈り取らなければなりません、とりあえず大繁茂の除去になりました。

● **寸胴切りの薪の割り出し試行** 削岩機(バイブレーター)で簡単に割れます 試行で確認 22日 小川さんの力作です。太くて重くて固くて取り扱いに大変手間がかかる原木です。これを森島さんが集積頂きました。引き続いてこれを割らなければ持ち運びが困難です。以前から割り出す装置(機械)について相談してきました。このたび手持ちの削岩機を使つての試行では、スムーズとはいきませんが、割り出す力は十分だと思います。三人一組で行うと簡単でした。もちろん二人で息が合えば、予想を超えるスピードで能率が上がるのではないかと思います。体力の消耗はかなり軽減されます。

● **第35回木津川マラソン大会第1回事項委員会が23日に開催** 2月に終わつたと思っていましたら、もう3か月が経過しています。10月1日に選手募集開始、9月には募集要項が印刷完了となっていなければなりません。少なくとも8月初めには印刷原稿が完成していなければなりません。34回大会の数多くの教訓から改善を図って結論を導きだした上で、第1次原稿は7月中にすべて完成させておかなければなりません。この概略日程が例年のスケジュールです。もう5月も25日で検討時間は6月からわずか一か月間しか余裕がありません。スケジュールから見ると、まさに35回大会の成功は6月中にどれだけ充実した原案を練り上げるかに架かっているのです。

● **5月27日に予定していた魚とり中止** 先日の竹蛇籠の生き物調査で稚魚の姿見られず 成長が遅れているようです。21日の竹蛇籠での取り組みから見ると、今年の魚の成長が遅いように見えますので、5月27日は延期することにいたします。

● **木津川のごみ清掃一斉行動日 27日 里山の会受け持ちが山城大橋東詰めと依頼されています** ご参加ください。昨年は、この日の取組みに木津川清掃に取り組みました。ところが今年は、2月に一斉行動が提起されました。このままでは年間幾度も一斉清掃の取組みがされることになりかねません。私たち里山の会は、京田辺市の一斉清掃日の前日の土曜日に「木津川清掃ウォーキング」と位置付けて自主的に活動を進めてきました。それも木津川のポイントに参加案内の簡易ポスターを張り出して一般参加者と一緒に行動してきました。再度里山の会として清掃活動の在り方(回数)を検討する必要があると思います。ちなみに里山の会の年間清掃活動を列挙します。12月ハイキングコース、山城大橋東駐車場・河川敷草刈り、1月 南駐車場草刈り。マラソン本部席会場草刈り、2月マラソン会場全域のゴミ拾い清掃活動、5・7月渡しの浜清掃活動草刈り、本部席会場草刈り、不法投棄物片付け、尾根筋ハイキングコース草刈り清掃、9月マラソン会場草刈り、11月木津川各地の草刈りと清掃。

● **里山農園のササユリの芽出し見つからず** 雨が少なく心配です。もうそろそろ姿を見せてくれてもいい頃なのですが確認できていません。この様子だと計画していた時には愛でる会を6月3日(土)と予定していましたが延期と判断いたします。週刊ニュースに注目いただきますようお願いいたします。

● **里山音楽会と蛍のゆうべ 6月10日(土)** 例年より少し時期が早いようですが、開催いたします。茶摘みの季節になり茶畑がすっぱりおおわれています。畦道の草には除草剤が散布されるか刈り払われ、耕運機が威力を発揮して、田植えの準備が整えられ、田圃の様子が瑞穂の国、出現となってきます。少しするとホタルのニュースが目に入ります。里山の会の初夏の定番「里山音楽会と蛍の夕べ」となります。まさに新緑萌えいずる里山農園の一番美しい風景となります。ウグイスはすっかり美声になり、オオムラサキも大きくなります。楽しい里山音楽会にいたしましょう。小川さんが雨漏りの屋根の修理に1月から取り組んでいただきました。雨漏りの心配は解消されました。風による吹き込みで水たまりが一部発生しますが、ニスによる床板再生が図られ、教育棟の雰囲気が一変しています。里山の会の誇る施設が完成しています。ここでの音楽会に期待が膨らみます。